

2019年度社会福祉法人ゆめグループ福社会 事業報告

1. 社会福祉法人ゆめグループ福社会の基本理念

- 1) 障がいのある人々の権利を守り、その選択と自己決定を尊重します。
- 2) 障がいのある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられる支援を行います。障がいの有無を問わず、ともに交流し、ともに働き、ともにくらす場をつくりまします。
- 3) 障がいのある人たち・その家族・地域住民のねがいにもとづき、地域に根ざした、開かれた施設をつくり、地域の福祉の向上をめざします。

以上の理念に基づき、各種の事業に取り組んできました。

2. 事業運営

以下の第2種社会福祉事業の運営を実施した。

施設の事業実績と事業報告は別紙。

- 1) 第2種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）の運営：
ゆめ工房、ゆめ工房北砂、ふれあい工房、ドリーム第2、ドリーム第2分室リサイクル工房サラエ、ドリームクラブハウス
- 2) 第2種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（多機能型：就労継続支援B型、生活介護）の運営：
ネットワークゆめ工房
- 3) 第2種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（共同生活介助）運営：
ひだまり第3・ひだまり第4、いぶき寮、丸山ハイツ・東砂ハウス
- 4) 第2種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（重度訪問介護、居宅介護、同行援護）、移動支援事業運営：地域交流支援センター
- 5) 第2種社会福祉事業 特定相談支援事業：
ゆめ相談支援事業所の運営

以下の公益事業の運営を実施しました。

- 1) 公益事業：
「江東区心身障害者生活寮」 ひだまり、ひだまり第2の運営

3. 2019年度の取り組み

- 1) ドリーム第2の分室の増設計画は、当初リサイクル工房サラエの再編を検討していたが、リサイクル工房サラエの事業が軌道に乗って自立して運営できることになったので、計画を変更しサラエとは別に、新たに分室を増設することにして計画を進めた。

江東区北砂4丁目に、最適な条件の賃貸物件を見つけ、カフェ兼飲食店の店舗型の事業所の計画を実行に移した。補助金等の確保ができず、自己資金での分室改修建設となった。2020年度にかけて改修、各種手続き、申請等を進めている。

- 2) 就労継続支援B型、就労移行支援事業を含む多機能型の事業所の移築再編・改修・新設を伴う事業所の建設について、候補になっている対象予定敷地・物件を対象に改修基本計画を策定した。この計画は、重度の身体障害のある人たちを含むグループホームを含む計画としている。しかし候補物件の取壊し方針が大家さんから出されたので、計画は凍結状態となっている。物件の条件が再確定した段階で、新たに計画を検討することとした。

- 3) 共同生活援助事業の安定化、充実化を図った。

グループホーム運営・支援のアドバイス・相談ができる会議として、グループホームのスタッフ会議を隔月実施し、研修も実施した。

- 4) 職員参加による研修の実施

定例研修会の実施：テーマ：新人職員研修、職員研修2回
外部研修機会の拡大を図った。22回延べ31人。

- 5) 施設・設備の改善

既存建築物の環境整備を図った。

- 6) 地域連携の取り組みをつよめた。

ゆめ祭りは台風のため直前に中止となった。

地域行事への参加・協力、近隣清掃、赤い羽根共同募金の取り組みを実施した。

ボランティア活動の導入：行事においてボランティアに積極的に参加してもらった。

7) 法人組織体制の強化を図る

理事長・施設長・副施設長・主任・職員体制の整備を図り、施設長会義主任会議、職員会議の定着化・充実化をはかった。

イベント・行事別実行委員会を利用者ととともに結成し、実施した。

8) 以下の行事に全体で、取り組み実施した。

- 4月 入所式 ゆめグループ全体会
- 5月 メーデー参加 台風で不参加
- 6月 ゆめグループ宿泊訓練(西伊豆1泊2日)
障害者スポーツ大会参加
- 7月 プール(江東、墨東特別支援学校)
- 8月 ゆめグループ宿泊訓練(岩手県:七時雨のつどい:2泊3日)
- 10月 ゆめまつり 台風のため中止
- 10月 きょうされん全国大会に代表参加
江東区民まつり、墨東特別支援学校あきまつり、
- 12月 ゆめグループ望年会、江東区障害者福祉大会
- 1月 成人・還暦祝い、餅つき
- 2月 江東区障害者作品展

4. 理事会・評議員会の開催

1. 理事会

- 1) 第1回理事会 令和1年5月31日(金)
業務執行報告、平成30年度事業報告、平成30年度決算、監事監査報告職員就業規則、非常勤職員等就業規則、再雇用職員就業規則の改定、定時評議員会の招集事項の決定、役員(理事・監事)候補者の推薦
- 2) 第2回理事会 令和1年6月14日(金)
理事長の選任、業務執行理事の選任
- 3) 第3回理事会 令和1年10月29日(火)
ゆめグループ福祉会「ドリーム第2分室増設」について
- 4) 第4回理事会 令和2年1月30日(木)
業務執行報告、「ドリーム第2分室増設」計画、江東区による法人監査、ゆめ工房・ゆめ工房北砂実地検査について、2019年度補正予算、ゆめ工房の賃貸借契約の承認、ゆめ工房北砂の賃貸借契約の承認、ゆめ工房会議室の賃貸借契約の承認
- 5) 第5回理事会 令和2年2月28日(金)

業務執行報告、江東区による法人監査、ゆめ工房・ゆめ工房北砂実地検査について、役員等報酬規程の改定、経理規程の改定、評議員選任・解任委員の選定

6) 第6回理事会 令和2年3月25日(水)

経理規程の改定、会令和2年度事業計画、令和2年度予算、定時評議員会の招集事項の決定

2. 評議員会

1) 第1回評議員会 令和1年6月14日(金)

平成30年度事業報告、平成30年度決算、職員就業規則、非常勤職員等就業規則、再雇用職員就業規則の改定、新役員(理事・監事)の選任

2019年度事業報告

ゆめ工房

事業所名	ゆめ工房
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	就労継続支援B型
所在地	東京都江東区北砂1-14-4 1階
管理者	岡田 芳久
事業の目的	<p>障害のある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられるように、適切な支援をおこなう。</p> <p>他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。</p> <p>文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるように支援する。</p> <p>集団を基礎とした人間関係を中心に置き作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す。</p>
事業の内容	<p>●「はなすこと」を活動の基礎に置く、適切な声・主語をはっきり・聞くと話すのキャッチボール</p> <p>●受け身ではないやりたい気持ちを育てる支援</p> <p>●やれることはやろうという気持ちを作る支援</p> <p>●注意するときはやさしく→ほぼ達成</p> <p>●ケンカを減らそうという目標はかなり達成できた</p> <p>作業(労働)</p> <p>① 金体として作業効率を開けるための席替えなどを行い、ミスの減少とスピードアップを達成。</p> <p>② ダイレクトメール発送作業(タックシール貼り、封入など)</p> <p>③ パソコン(名刺作成など)の人材育成、パソコン教室</p> <p>④ 下請け作業(部品はめ込み、コピー用紙袋詰め)</p> <p>⑤ 準備から後片付けまで作業をひとりでこなせる人を育成する→数人</p> <p>⑥ 口腔衛生商品販売の拡大→不十分だった。</p> <p>⑦ 自主製品の作成(コーヒーがら消臭剤)新製品開発ができなかった。</p> <p>⑧ むしばんの移動販売再開定期化、新製品開発(季節特別メニュー)→目標達成できず。</p> <p>⑨ 利用者と納品に行くことで納品費用を工賃会計に反映することができた。</p> <p>目課</p> <p>① バランスのとれた昼食への切り替え</p> <p>② 障がいに応じた一口食など形態の工夫、はさみを入れる</p> <p>③ 歩く活動を意識的に取り入れる 納品など自転車</p> <p>④ 昼休み後のストレッチ スクワット</p> <p>文化的活動</p>

	<p>① 創作活動(月1回) 美術作品の制作、ギャラリー展示会、パラリンピックアート</p> <p>② 作品展への出展(きょうされん作品・江東区作品展入賞)</p> <p>③ 東京都障害者スポーツ大会への参加支援</p> <p>④ 軽音楽、陶芸教室など課外活動</p> <p>自治活動</p> <p>① リーダー会議</p> <p>② メンバー自治会の組織</p> <p>③ 「何でもやろうかい」の立案・実施 利用者中心での企画</p> <p>④ 各種行事实行委員会</p> <p>⑤ 帰りの会のひとこと</p> <p>その他</p> <p>① 宿泊訓練 西伊豆(1泊2日)または自然体験訓練(岩手県)</p> <p>② 希望者には送迎を実施する</p> <p>③ 給食は実施しない(仕出し弁当を斡旋する)</p> <p>④ 利用者アンケートの実施</p> <p>⑤ 地域から講師を招き、利用者向けパソコン教室実施</p> <p>⑥ 高齢化への対応、各介護保険事業者との連携、</p>
健康管理	<p>① 年1回の健康診断を実施する(保健所で実施)</p> <p>② 手洗い、うがいなどの励行、インフルエンザ予防に一定の効果</p> <p>③ 誤嚥防止の支援</p> <p>④ 体重、血圧定期測定の実施</p>
年間計画	<p>4月 入所式 ゆめグループ全体会</p> <p>5月 メーデー(雨天中止)</p> <p>6月 宿泊訓練</p> <p>8月 プール(江東、墨東特別支援学校)、夏休み、ゆめのつどい</p> <p>9月 きょうされん全国大会</p> <p>10月 ゆめまつり(中止)</p> <p>12月 江東区障害者福祉大会 望年会</p> <p>1月 江東区障害者作品展</p> <p>2月 成人・還暦祝い、餅つき(インフルエンザにより延期)</p> <p>3月 ゆめグループ総括会議</p> <p>外出訓練を年2回実施する。(通称何でもやろう会)</p> <p>消火・防災訓練年2回実施</p> <p>ゆめグループの地域開放事業実施ゆめまつり→台風のため中止</p>
その他	<p>利用者支援</p> <p>① 給料と評価基準の明確化を利用者が理解できる形で進める。目標を持つ人の工賃面での評価</p> <p>② 利用者・職員に対するアンケートの実施→外出への要望</p>

- ③ 利用者・職員に対する経営状態の公開→訓練費の話、工賃の話
- ④ 相互の障害の理解のための学習会など実施→できなかった
- ⑤ 就労希望者には情報提供と実践力を培う練習との両面で就労支援を行う。
- ⑥ 新規利用者獲得→新規利用者定着
- ⑦ 利用者、職員の雑談力をつける
- ⑧ 新規利用者の定着に向けて一部利用者の重点担当制を作る
- ⑨ 一週間の見通しを持てるように支援する（週間予定表など）
- ⑩ その日の予定の打ち合わせ

職員

- ⑪ 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との話し合いを定期的に行う。3月に実施
- ⑫ セルフプランなどによるサービス等利用計画への対応、特定計画相談支援事業所との連携介護保険ケアマネ、権利擁護など実施
- ⑬ 職員の指導力を高めるための研修を実施、行動障害など
- ⑭ 職員との個別面談
- ⑮ 作業内容の絞り込みなどにより職員がイベント担当などを効率的に進めることができるよう配慮した

環境

環境整備を進める。整理整頓。パーティションの活用による集中できる環境づくり。

管理運営

- ① 高齢障害者中心の事業所か多年齢の事業所か将来の方向を考える。押しつけの地域包括支援ではない専門家ネットワークづくりに向けて方向を考える。介護保険とのネットワークを使った支援を実施した
- ② 職員の仕事マニュアルづくり→できず
- ③ 作業所の中期計画案づくり→できず
- ④ 就労中、在宅など元利用者などのアフターケア 年限をこえて実施中。
- ⑤ 利用者急死、GH で。そのほか家庭の事情での退所者などあり。利用者減少。

事業所名	ゆめ工房北砂	
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会	
事業の種類	就労継続支援B型	
所在地	東京都江東区北砂一丁目14番4 2F	
管理者	安部 慎太郎	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人たちの生きがい・労働を支え・地域生活を営む力をつけられるよう、適切な支援を行う。 ・文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるよう支援する。 ・集団を基礎とした人間関係を中心に置き、作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す。 ・他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。 	
2019年度目標	<p style="text-align: center;">「楽しい北砂をつくろう」</p> <p>相手を思いやる気持ち・行動を心がけ、必要に応じて様々なルール・役割を作った。</p>	
事業内容	作業(労働)	<p>収入 3,800,000 円を目指す ⇒結果 3,384,023 円</p> <p style="text-align: center;">工賃 6,696 円/1ヶ月(支払対象者 300人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下請け作業 目標収入 1,700,000 円 ⇒結果 1,573,048 円 <p>印刷物の封入作業、ダイレクトメール発送作業、ビニール袋の検品作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菓子製造業 目標収入 2,000,000 円 ⇒結果 1,660,095 円 <p>手焼きせんべい、石焼き芋、芋けんぴ、揚げせんべい、芋菓子を砂町銀座・西大島を売り歩いた。 社協「まごころ市」、専門学校・企業等で販売する。⇒台風やコロナウイルスの影響でイベントでの販売は予定より減った。</p> <p>新商品の開発⇒「カレーなるせんべい」 販路拡大⇒月2回の訪問販売先を確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主製品 収入 100,000 円 ⇒結果 150,880 円 <p>エコクラフト(小物入れ、カトラリーケース)、新商品の開発⇒新商品なし。利用者が製作出来るよう</p>

	<p>にすることが目標の段階</p> <p>※毎月、振り返りの会議をする。⇒毎月は出来なかった。</p> <p>収支報告⇒工賃にいくら使うか検討する。また、気づいたことから協議し来月の目標を定める。</p> <p>⇒全体ではなかなか実施できず、職員・三役を中心に工賃の額など検討した。</p>
日課	<ol style="list-style-type: none"> ① 出勤簿に判を押す ② 体操・ストレッチ・スクワット ③ 掃除 ④ 朝の会（今日やることの確認・共有、連絡事項） ⑤ 昼休み（昼食・歯磨き） ⑥ 午後の確認（午前やったことの確認、午後やることの確認） ⑦ 帰りの会（今日やったことの確認・共有、連絡事項） ⑧ 三役会議（リーダー・サブリーダー・会計で出勤簿の確認、業務日誌をつける、明日の予定について）
文化的活動	<ol style="list-style-type: none"> ① 創作活動（月1回） 美術作品の制作 ② 作品展への出展（きょうされんグッズデザインコンクール、かかしコンクール、障害者作品展、など） ③ スポーツ系のレクリエーション 体を動かすこと・他者への理解・組織としての連帯を目指す ④ 東京都障害者スポーツ大会への参加（希望者） ⑤ 手話教室（希望者） ⑥ 軽音サークル（希望者） ⑦ 学習会（障害者福祉関連・文字の読み書きなど）
自治活動	<ol style="list-style-type: none"> ① リーダー会議 ② メンバー自治会の組織 ③ 「なんでもやろうかい」の立案・実施 ④ 各種行事实行委員会
その他	<ol style="list-style-type: none"> ① 宿泊研修 6月静岡県宇久須温泉（1泊2日）か8月岩手県七時雨（2泊3日）を選択した ② 防災訓練（2回） ③ 希望者には送迎を実施した。

		<p>④ 給食は実施しない。個人の身体・収入に合ったものを自分で選択することを目指す。買い物支援・仕出し弁当を斡旋した。</p> <p>※利用者同士で会話やカードゲーム、また休日に遊びに行く場面があった。</p>
健康管理	<p>① 年1回の健康診断を実施する 利用者は保健相談所、職員は診療所と契約</p> <p>② 手洗い・うがいの励行</p> <p>③ ダイエットサークル（有志）毎日、体重を量り記録をつけ意識を高める</p> <p>④ 必要に応じて通院同行や食事の補助など</p>	
年間計画	<p>4月 ・入所式・ゆめグループ全体会（事業計画について）</p> <p>5月 ・メーデー（有志）</p> <p>・障害者スポーツ大会参加（有志）</p> <p>6月 ・宿泊研修（1泊2日） 静岡県宇久須温泉 6/6（木）～6/7（金）</p> <p>7月 ・江東特別支援学校夏まつり</p> <p>8月 ・宿泊研修 七時雨（2泊3日）</p> <p>9月 ・プール（江東・墨東特別支援学校借用）</p> <p>・きょうされん全国大会@愛知（2泊3日）</p> <p>・ゆめまつり⇒台風のため中止</p> <p>10月 ・江東区民まつり</p> <p>12月 ・江東区障害者福祉大会⇒ゆめグループ全体で臨んだ。「世界に1つだけの花」</p> <p>1月 ・望年会⇒ゆめまつりで用意していたものを活用し実施</p> <p>・成人還暦祝い・江東区障害者作品展</p> <p>2月 ・餅つき</p> <p>3月 ・ゆめグループ全体会（総括会議）⇒コロナウイルス対策で中止。</p>	
その他	<p>① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との話し合いを行った。</p> <p>② 職員の指導力を高めるための研修を実施した。また、外部の研修にも積極的に参加を促した。</p> <p>③ 利用者・職員に対するアンケートの実施</p> <p>④ 利用者・職員に対する経営状態の公開</p> <p>⑤ 相互の障害の理解のための語る会など実施</p> <p>⑥ 就労希望者には、情報提供や履歴書の書き方、面接に同行するなどの支援を行う。⇒就労移行者1名。就労移行支援事業所への移行を応援した。</p>	

2019年度事業報告

ネットワークゆめ工房

事業所名	ネットワークゆめ工房
運営法人	社会福祉法人ゆめグループ福祉会
事業の種類・定員 (契約者数 31/4/1)	生活介護 10名、 就労継続支援B型 10名 生活介護11名、就労B10名 (*31年度末 生活10名、就労9名)
所在地	江東区北砂 1-17-4 稲見北砂ハイツ 1階
管理者	柳 春夫
事業の目的	障がいのある人たちが生きがいある生活を送れるよう支援する。 方働の場を提供し、更には地域の人々と交流し共生する場を実現できるように努力する。 他の支援機関と協力し一般就労実現のため支援する。 文化活動やスポーツ活動など多様な取り組みを行い、利用者の力を充分発揮できるようにする。 生活リズムを大切にし、障がいと付き合いながら、健康を維持・増進するための取り組みを進める
事業内容	作業(労働)①軽作業 (下請け作業) (売り上げ 紐通し・結び 入浴剤封入 ゆめニュース発送 売上 188,870円 (30年度 183,066円) ②自主製品の製造販売 陶芸 ポストカード (年賀状を含む) 売上 505,309円 (30年度 471,312円) ③アルミ缶リサイクル 売上 208,407円 (30年度 247,417円) 回収量 2414.8kg (30年度 2782.3kg) 売上総額 902,586円 (30年度 901,107円)
売り上げ ・下請作業 昨年度より5,000円ほど増加。 ・自主製品 それぞれ5,000円程度売り上げを伸ばしている。特に年賀状は10,000円以上増えた。 ・アルミ缶リサイクル 大きく後退した。回収量も減であり、買取単価も 10円/kg下がっている。	
工賃 全体で130円アップできた。生活介護が多いのは就労Bより出席率が良いことが原因している。昨年同様、年度末に	(支払い工賃) 生活介護 2,837円/月 (30年度 2,715円) 就労B型 2,769円/月 (30年度 2,628円) 全体 2,808円/月 (30年度 2,674円) 工賃総額 62,620円 (30年度 615,730円)

ボーナスを支給し

区障害者作品展、
きょうされんコン
クールに各1名入選

軽音楽クラブに4
名参加

出席状況

生活介護 77.
9% (71.2)

就労B 52.8%
(60.4)

全体 66.0%
(66.3)

*長期欠席者2名
(入院1、在宅療養
1) 2名とも就労B
在籍者

販売原価支出 904,131円 (30年度 848,857円)

文化活動 ①創作活動

絵画(多様な画材)、パソコンによる作画、陶芸
*創作教室(月一回。専門講師が指導)

②作品展への参加

きょうされんコンクール、江東区障害者作品展

③クラブ活動

軽音楽クラブ、陶芸教室

自治活動 ①メンバー自治会への参加

②「何でもやろう会」(3月に一回)の企画・実施

その他

①宿泊研修・訓練(2泊3日)

②希望者への送迎の実施

③給食は実施しない。(仕出し弁当を斡旋する)

健康管理

年一回の健康診断を1月実施。(保健所)

*利用者のみ 職員は協会健保の健診を実施

健診の結果精密検査実施を指摘された利用者が1名いたが、コロナ騒ぎのなかで実施できていない。新年度、至急取り組まなければならない。嘱託医が月一回来所し利用者との相談を実施した。嘱託医の診断を受けてマッサージなどにつながった利用者もいる。

昼エリアを利用するの休養をとる利用者増加している。

年間行事活動

4月 入所式

ゆめグループ全体会(年間計画)

5月 障害者メーデー(雨天で参加中止)

6月 宿泊研修①(西伊豆)

7月 学校開放プール(墨東特別支援学校)

なんでもやろう会(映画鑑賞と食事:錦糸町)

8月 宿泊研修②(岩手・七時雨 ゆめのつどい)

9月 きょうされん全国大会(愛知:ネットワーク1名参加)

10月 ゆめまつり(台風のため中止)

地域と障害者の秋祭り(墨東特別支援学校)

11月 映画「星にかたりて」鑑賞

なんでもやろう会(調理実習とDVD鑑賞)

12月 江東区福祉大会(全員参加)

望年会(砂町文化センター)

1月 成人・還暦のお祝い、もちつき

健康診断①

2月 健康診断②

	<p>3月 なんでもやろう会（雨で外出中止。カラオケ、ゲーム、DVD鑑賞）＊新型コロナウイルス感染予防対策で全体会等中止</p>
<p>その他</p>	<p>① 個別支援計画の作成はほぼ全員年2回作ることができた。長期入院者1名と家庭事情を配慮した1名は1回しか作成できず。 モリタリングの実施時期と記録は難しく工夫が必要と思う。</p> <p>② 職員の研修は各人が選択したものを希望に沿って実施したほか法人全体で実施した。ネット独自の研修は実施できなかった。</p> <p>③ 施設の改修等では予定していた台所レンジは出来ず、今年度も破損箇所修理（陶芸室と作業スペースの仕切りドア）にとどまった。</p> <p>④ 31年度途中で2名が退所した。生活介護1（通院医療中心の生活に移行）、就労B1名（12月に死亡）</p>

(参考様式)

事業実績書

(施設名) (サービス種別)	事業期間	訓練状況															行事の実績
		月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均	
(施設名) ネットワークゆめ工房 (サービス種別) 生活介護	平成31年4月 ~ 令和2年3月	開所日数 A	20	19	20	22	18	19	20	20	20	19	18	21	236	19.7	4月 2日入所式(ネットワークに馬嶋さん入所) 19日全体会(方針確認) 5月 1日障害者メーデー兩で参加中止 6月 6~7日研修旅行①(西伊豆方面) 12日花枝子モ参加代(代表) 7月 11日なんでもやろう会(鎌倉町、映画と食事) 20日江東特別支援学校(以下特支と特す)夏祭り参加(有志) 23日墨東特支プール開放(有志) 29日職員研修会 8月 3日サマーフェスティバル(砂町文化センター)参加(有志) 10~18日休み 23~25日研修旅行②(岩手・七輪町) 10月 12日ゆめまつり・台風接近で中止(15日代休) 23日赤い羽根共済会(東陽町駅周辺) 25~26日きょうさん全園大会(愛知)代表参加 28日墨東特支秋まつり参加(28日代休) 11月 20日「星に輝いて」鑑賞 22日なんでもやろう会(調理実習、DVD鑑賞) 12月 7日江東区障害者福祉大会参加(9日代休) 20日望年会 27日仕事納め 28~1月5日冬休み 1月 6日新年初顔合わせ 21日健康診断①(城東南部相談所) 24日成人・還暦のお祝い(片岡さん成人、江川さん還暦) 2月 5~7日障害者作品展(堀口さん奨励賞) 13日仲間の会臨時総会(新役員選挙立会演説ほか) 18日健康診断② 3月 10日何でもやろう会(外出取り止め ゲームとDVD鑑賞) 以降コロナウイルスのため全体会等中止
		利用者延人員 B	158	170	174	199	148	177	181	165	167	164	154	174	2031	169.3	
	1日平均利用人員 B/A	7.9	8.9	8.7	9	8.2	9.3	9.1	8.3	8.4	8.6	8.6	8.3	103.3	8.6		
	月初日在籍者数 C	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132	11	
(施設名) ネットワークゆめ工房 (サービス種別) 就労継続支援B型	平成31年4月 ~ 令和2年3月	開所日数 A	20	19	20	22	18	19	20	20	20	19	18	21	236	19.7	4月 2日入所式(ネットワークに馬嶋さん入所) 19日全体会(方針確認) 5月 1日障害者メーデー兩で参加中止 6月 6~7日研修旅行①(西伊豆方面) 12日花枝子モ参加代(代表) 7月 11日なんでもやろう会(鎌倉町、映画と食事) 20日江東特別支援学校(以下特支と特す)夏祭り参加(有志) 23日墨東特支プール開放(有志) 29日職員研修会 8月 3日サマーフェスティバル(砂町文化センター)参加(有志) 10~18日休み 23~25日研修旅行②(岩手・七輪町) 10月 12日ゆめまつり・台風接近で中止(15日代休) 23日赤い羽根共済会(東陽町駅周辺) 25~26日きょうさん全園大会(愛知)代表参加 28日墨東特支秋まつり参加(28日代休) 11月 20日「星に輝いて」鑑賞 22日なんでもやろう会(調理実習、DVD鑑賞) 12月 7日江東区障害者福祉大会参加(9日代休) 20日望年会 27日仕事納め 28~1月5日冬休み 1月 6日新年初顔合わせ 21日健康診断①(城東南部相談所) 24日成人・還暦のお祝い(片岡さん成人、江川さん還暦) 2月 5~7日障害者作品展(堀口さん奨励賞) 13日仲間の会臨時総会(新役員選挙立会演説ほか) 18日健康診断② 3月 10日何でもやろう会(外出取り止め ゲームとDVD鑑賞) 以降コロナウイルスのため全体会等中止
		利用者延人員 B	110	105	112	127	96	104	111	104	90	93	87	103	1242	103.5	
	1日平均利用人員 B/A	5.5	5.5	5.6	5.8	5.3	5.5	5.6	5.2	4.5	4.9	4.8	4.9	63.1	5.3		
	月初日在籍者数 C	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	117	9.8	

2019年度事業報告

ふれあい工房

事業所名	ふれあい工房	
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会	
事業の種類	就労継続支援B型 定員20名 現員24名 身体：6名 知的：9名 精神：8名 手帳なし：1名 男性8名 女性16名 平均年齢39.2歳	
所在地	東京都江東区千石2-2-5	
管理者	中村 幸江	
職員体制	主任：裏方班担当 緑川 亮介 喫茶班担当 関家 悠史 店舗班担当 高橋 幸子 ベーカリー 姜 恩慶 ベーカリー（パート）中村 英理子 ベーカリー（パート）石川 千里 送迎担当 宇田川 繁	
事業の目的	<p>店舗を通して、生産者と地域のお客様との仲立ちを、障害のある人たちがすることで、生きがい・労働を支え・地域生活を営む力をつけられるように支援を行う。</p> <p>文化活動・創作活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるよう支援する。</p> <p>他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。</p>	
事業内容	作業（労働）	<p>① 産直野菜の仕入れ（岩手県）・販売</p> <p>② 天然酵母パンの製造・販売 パン製造希望者でシフトを決めて担当した。</p> <p>③ 焼き菓子等の製造・販売 「パウンドケーキ」は売行きも好調で、「るーくる」での過去最高売上につながった。</p> <p>④ カフェコーナーでのランチ・ドリンク提供 新商品「冷製パスタ」 外部販売 保健相談所（4カ所）、社協、ダイエー、トーヨーカネツ、朝日航洋、NEC、ゆめグループ事業所で販売した。</p> <p>⑤ 体に優しい食品、雑貨等の販売</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 食品の下請け作業 インドから輸入したドライフルーツ「アマラ」の袋詰め（不定期） ⑦ 店舗をコミュニティスペースとして活用する造形教室、他団体の打合せ、勉強会などで使用した。
	日課	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎朝、接客基本用語、身だしなみチェック ② ラジオ体操 ③ 昼食後の歯磨きを徹底 ④ 毎日の清掃以外に、場所ごとに集中掃除を行った
	文化的活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 創作活動（月1回） かかしコンクールに参加 2体作成した（ステップ賞、ユニーク賞受賞） ② 作品展への出展（きょうされんグッズデザインコンクール、障害者作品展）
	自治活動	<ul style="list-style-type: none"> ① リーダー会議 ② 自治会（仲間の会）の活動 ③ 「何でもやろう会」の立案・実施3回 ④ 各行事実行委員会
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ① 宿泊訓練 ② 希望者には送迎を実施する ③ 仕出し弁当・不定期で土曜日賄い食を提供 ④ 第1第3土曜日を開所する。 (当該週の水曜日は休みとする)
健康管理	<p>11月 城東保険相談所にて、健康診断を受けた。 毎月、「運動の日」を計画した。 スポーツ会館等を利用し、毎回何をやりたいか相談して行った。</p>	

年間行事	<p>4月 入所式 ゆめグループ全体会</p> <p>5月 メーデー ※悪天候のため不参加</p> <p>6月 なんでもやろう会（珈琲焙煎見学）江戸深川珈琲本舗</p> <p>7月 研修旅行 西伊豆 宇久須温泉 プール（江東・墨東特別支援学校）</p> <p>8月 暑気払い「スシロー」 七時雨 ゆめのつどい（有志）</p> <p>9月 避難訓練（火事） ゆめまつり 台風のため中止</p> <p>10月 きょうされん全国大会 in 愛知（代表参加） 江東区民まつり なんでもやろう会（スポッチャ）お台場ダーパーシティ</p> <p>11月 江東区障害者福祉大会（ゆめグループ全員参加）</p> <p>12月 望年会 お疲れさん会「牛太」しゃぶしゃぶ・すき焼き食べ放題 初詣「富岡八幡宮」</p> <p>1月 成人御祝&餅つき なんでもやろう会（本所防災館）</p> <p>2月 避難訓練（地震） 江東区障害者作品展 ゆめグループ総括会議 ※コロナで中止</p> <p>3月 復興支援イベント「みそ作り」 ※コロナで中止</p>	
その他	<p>① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との面談を行った。</p> <p>② 職員の支援力を高めるための研修会に参加した。</p> <p>③ 利用者の希望に沿って担当を決め、責任感、作業意欲が向上できるように支援した。</p> <p>④ 給料と評価基準を明確化し、利用者が理解できる形で進めた。 夏5,000円、冬10,000円年度末手当10,000円～30,000円を支給した。令和元年度の平均工賃は10,111円。</p> <p>⑤ 利用者・職員に対するアンケートの実施した</p> <p>⑥ 利用者・職員に対し、経営状態を公開した</p> <p>⑦ 就職希望者の見学、面接、契約に同行し、一般就労につながった。</p>	

2019年度事業報告

本館ドリーム第2 分室リサイクル工房サラエ

事業所名	本館 ドリーム第2 分室 リサイクル工房サラエ
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	就労継続支援B型
所在地	本館 ドリーム第2 東京都江東区東砂 6-20-7 1F 分室 リサイクル工房サラエ 東京都江東区東砂 5-16-3-101
管理者	田中 直樹(サービス管理責任者 兼務)
主任	本館：才野 結子 分室：仲前 幸枝
利用者	本館ドリーム第2 平成31年度 利用開始者 男性 1名 女性 3名 平成31年度 利用終了者 男性 1名 女性 0名 2020年3月31日現在 男性19名 女性11名計 <u>31名在籍</u> 分室リサイクル工房サラエ 平成31年度 利用開始者 男性2名 女性 2名 平成31年度 利用終了者 男性2名 女性 1名 2020年3月31日現在 男性9名 女性 5名 <u>計14名在籍</u> <u>本館、分室 計45名</u>
事業の目的	基本方針 1. ひとりひとりの力とやる気に合わせた作業を提供する。 2. 利用者相互のコミュニケーションを大事にして、一緒に成長していけるようにする。 3. 自分で考え、社会で生きていく力を伸ばし生き活きとした毎日が過ごせるようにする。 4. 障害状況にあわせた支援を行い、健康に毎日過ごせるようにする。 5. 他の支援機関と協力して一般就労に向けて支援する。 支援方針 1. ひとりひとりの力とやる気に合わせた作業を提供する。 (1) 見通しや責任感を育てる役割、係の設定。 (2) 自助具の開発、改善により、生産数のアップ、技術向上、達成感の会得を図る。 (3) 生産目標、財政目標を立て定期的にわかりやすく作業をふりかえり、今後の見通しをもつ。 (4) 安定した作業と、少し難易度の高い工程への組み合わせで意欲を育てる。 (5) 給料増額にむけて仕事開拓のための営業活動や自主製品開発を行う。

	<p>2. 利用者相互のコミュニケーションを大事にして、一緒に成長していかれるようにする。</p> <p>(1) リーダー会の一層の充実をはかる。</p> <p>(2) おたがいのがんばりや成長を気付き合い評価し合える場面を作っていく。</p> <p>3. 自分で考え、社会で生きていく力を伸ばし生き活きとした毎日が過ごせるようにする。</p> <p>(1) 作業の様子、作業以外での様子を職員が共有、力を発揮できる場면을意識的に作る。</p> <p>(2) 問題の直面化などを意識的に行い利用者の相互作用により解決していく場面を作る。</p> <p>4. 障害状況にあわせた支援を行い、健康に毎日過ごせるようにする。</p> <p>(1) 現在の健康状況を職員が把握し、家庭、PT、保健師、医療機関との連携を図り必要な援助を行っていく。</p> <p>(2) 家庭訪問、個人面談、日常の情報収集などで通所者や家庭の状況を把握し必要な援助を行っていく</p> <p>(3) モニタリングや、職員間の情報共有に力を入れる。</p> <p>5. 他の支援機関と協力し一般就労に向けて支援する。</p> <p>(1) 就労のための情報を利用者に周知する</p> <p>(2) トライアル雇用などの制度を積極的に利用する。</p>																											
事業内容	<p>作業（労働）</p> <p>① 本館 喫茶班 利用者 11名</p> <table border="1" data-bbox="687 1205 1366 1346"> <tr> <td>喫茶収入</td> <td>30年度</td> <td>1,029,187円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>31年度</td> <td>1,329,342円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前年度比</td> <td>+300,155円↑</td> </tr> </table> <p>2年前の売り上げ大幅減から、喫茶店の目標を毎日3000円売り上げると掲げた。1日3000円をクリアするために、店舗の前にのぼりを立てたり、法人内に販売するなどをし、売り上げ向上とともに、毎日3000円の目標を達成したまた、新商品のケーキを2種開発し、そのうちの1つをるーくるにも新商品として販売を始めた。</p> <p>② 本館 厨房班 利用者 14名</p> <table border="1" data-bbox="683 1832 1353 1973"> <tr> <td>るーくる収入</td> <td>30年度</td> <td>4,807,057円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>31年度</td> <td>4,840,238円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前年度比</td> <td>+33,181円↑</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="683 1973 1353 2114"> <tr> <td>地域夕食収入</td> <td>30年度</td> <td>1,767,550円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>31年度</td> <td>1,782,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前年度比</td> <td>+14,450円↑</td> </tr> </table>	喫茶収入	30年度	1,029,187円		31年度	1,329,342円		前年度比	+300,155円↑	るーくる収入	30年度	4,807,057円		31年度	4,840,238円		前年度比	+33,181円↑	地域夕食収入	30年度	1,767,550円		31年度	1,782,000円		前年度比	+14,450円↑
喫茶収入	30年度	1,029,187円																										
	31年度	1,329,342円																										
	前年度比	+300,155円↑																										
るーくる収入	30年度	4,807,057円																										
	31年度	4,840,238円																										
	前年度比	+33,181円↑																										
地域夕食収入	30年度	1,767,550円																										
	31年度	1,782,000円																										
	前年度比	+14,450円↑																										

る一くるの売り上げも昨年とあまり変わらず、新商品の開発も無かった。しかし、若洲で行われるロックフェスでは、チャーシュー丼を新しく考え販売した。売れ行きはあまり良くなかったが、次回の反省も得た。新たなオードブル納品先も増えた。また、新しく利用者が3名厨房班に入る。

③ 本館 裏方班

利用者6名

裏方収入	30年度	248,227円
	31年度	<u>221,020円</u>
	前年度比	-27,207.円↓

本館の作業のサポートとして作業をする。自主製品として『ブラウニーケーキ』を販売。一年を通して販売に動き回った。『UVレジン』は商品化に至らず。次年度に再スタートを切る予定。

本館ドリーム第2 年間売上

30年度 7,852,021円

31年度 8,172,600円

+320,579円↑

③ 分室 リサイクルショップ営業

ショップ班3名

収入	30年度	731,010円
	31年度	<u>733,105円</u>
	前年度比	+2,095円↑

在庫管理、商品値付、接客、売上データ管理など、全てにおいて利用者が関わった。売り上げを上げるために話し合いを重ね、まずはお客様に「リサイクルショップサラエの存在を知ってもらうことから始める」という目標を改めて立て、利用者による手作りののぼり旗、チラシの作成とポスティングを始めた。前年と比べ、大幅な売り上げ増は叶わなかったが、「待っているだけでは集客も売り上げも上がらない」という意識を忘れずに、来年度も取り組んでいきたい。

④ 分室 印刷業

収入	30年度	6,409,375 円
	<u>31年度</u>	<u>5,416,808 円</u>
	前年度比	-992,567 円↓

分室移転から分室増設に方針が変わり、印刷業務の事業継続とする。新規の仕事は多くなく、長年受けている仕事メイン。年度途中にカラー印刷機を導入し、新規顧客を狙うが上手く進まず次年度に大きく広げていく予定。

⑤ 分室 自主製品、請負作業

裏方班 11名

収入	30年度	501,598 円
	<u>31年度</u>	<u>438,263 円</u>
	前年度比	-63,335 円↓

「電動自転車のタイヤ交換」の請負開始から1年がたち、タイヤ交換の他に新たに4つの作業を増やすことが出来た。技術と回転率の向上に力をいれて取り組むことで、不定期搬入だった仕事を定期搬入へと変えた。

また、利用者自ら作業単価の見直しと交渉を行い単価アップが実現した。自主製品は、お客様の意見を取り入れた商品を作ることで、るーくるでの売り上げが上がった。収入の柱の一つであった請負作業の「バスソルト」が事業縮小に伴い受注、売り上げ共に大幅に減少した。

		<p>分室リサイクル工房サラエ 年間売上</p> <p>30年度 7,641,983 円</p> <p><u>31年度 6,588,176 円</u></p> <p>−1,053,807 円↓</p> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本館分室 31年度工賃支出</p> <p>30年度 7,646,734 円</p> <p><u>31年度 6,686,739 円</u></p> <p>前年度比 −959,995 円↓</p> </div> <p>平均工賃</p> <p>本館ドリーム第2 平均工賃 16,436 円</p> <p>分室リサイクル工房サラエ 平均工賃 13,791 円</p> <p>ボーナス(年度末) 年度末 5,000 円〜40,000 円</p> <p>31年度 平均工賃月額：18,772 円</p> <p><u>32年度 平均工賃月額：15,734 円</u></p> <p>−3,138 円↓</p>
日課		<p>① 各班毎に朝の会</p> <p>② 朝のラジオ体操</p> <p>③ 昼食後の歯磨き(全員)</p> <p>④ 仕事終わりに全体での帰りの会(仕事の振り返り)</p>
文化的活動		<p>① 創作活動(月1回) 美術作品の制作 かかし展に参加(9月 深川資料館通り展示)</p> <p>② 作品展への出展 きょうされんグッズデザインコンクール 障害者作品展</p>

		東京都障害者スポーツ大会への参加 ③学習会 手話教室（毎月2回）希望者が参加
	自治活動	① リーダー会議 ② メンバー自治会の組織 ③ 「何でもやろうかい」の立案・実施 ④ 各種行事实行委員会 話し合いのスキルアップ、ルールのも確化
	その他	① 宿泊訓練（1泊2日） ② 希望者には送迎を実施 ③ 給食は実施しない（仕出し弁当を斡旋する）
健康管理	年1回の健康診断を実施する（保健相談所にて） 城東保健相談所にて実施 歯科検診を行う 未実施	
年間行事	4月	入所式、ゆめグループ全体会
	5月	メーデー、きょうされん東京大会
	6月	宿泊訓練旅行（西伊豆） 花咲デモ
	7月	何でもやろう会（オービィー横浜）
	8月	暑気払い、第3回ゆめのつどい
	9月	ぴあミュージックコンプレックス（若洲）
	10月	ゆめ祭り（台風のため中止）、きょうされん全国大会（愛知）
	11月	城東ふれあい祭り、映画【星に語りて】
	12月	江東区福祉大会、ゆめG望年会
	1月	成人・還暦祝い、餅つき
	3月	ゆめグループ総括会議
その他	① 福祉サービス第3者評価は受審している。 ② 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との話し合いを定期的に行った。 ③ 職員の指導力を高めるための研修を実施した。 社内研修、精神保健分野の保健センターでの研修の他、地域の研修会に随時参加。 ④ 希望に沿った形で、軽作業、食品の班に分け、作業意欲が向上しモチベーションを上げられるように支援した。 ⑤ 給料と評価基準の明確化を利用者が理解できる形で進めた。 評価会を行うことで、各自の頑張りや課題を確認し、仕事へのモチベーションにつなげていった。 ⑥ 利用者・職員に対するアンケートの実施 ⑦ 利用者・職員に対する経営状態の公開 ⑧ 相互の障害の理解のための語る会など実施	

⑨ 就労希望者には、情報提供や履歴書の書き方、面接に同行するなどの支援をおこなった。

- ・就労支援センターからの求人情報を提供。
- ・障害者雇用企業の説明会に参加。

⑩ 分室の増設

(参考様式)

事業実績書

(施設名) (サービス種別)	事業期間	訓練状況															行事の実績	
		月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均		
ドリーム第2 就労継続支援B型	平成31年4月 ～	開所日数 A	20	20	20	22	19	20	20	20	20	20	20	18	21	240	20	<ul style="list-style-type: none"> ・何でもやろう会 ・入所式 ・研修旅行 ・暑気払い ・ゆめまつり ・福祉大会 ・望年会 ・成人還暦 ・餅つき
		利用者延人員 B	456	475	462	534	412	482	482	466	460	452	462	538	5681	473.4		
	1日平均利用 人員 B/A	22.8	23.8	23.1	24.3	21.7	24.1	24.1	23.3	23	22.6	25.7	25.6	284.1	23.7			
	月初日在籍 者数 C	29	29	29	29	29	29	30	30	30	30	31	31	356	29.7			
ドリーム第2分室 (リサイクル工房サラエ) 就労継続支援B型	平成31年4月 ～	開所日数 A	20	19	20	22	19	19	21	20	20	19	18	21	238	19.8	<ul style="list-style-type: none"> ・何でもやろう会 ・入所式 ・研修旅行 ・暑気払い ・ゆめまつり ・福祉大会 ・望年会 ・成人還暦 ・餅つき 	
		利用者延人員 B	168	137	145	205	150	162	163	186	164	151	147	170	1948	162.3		
	1日平均利用 人員 B/A	8.4	7.2	7.3	9.3	7.9	8.5	7.8	9.3	8.2	7.9	8.2	8.1	98.1	8.2			
	月初日在籍 者数 C	13	13	13	15	15	15	15	16	16	16	15	15	177	14.8			

2019年度事業報告

ドリームクラブハウス

事業所名	ドリームクラブハウス
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	就労継続支援B型
所在地	東京都江東区北砂1-15-8
管理者	藤森 幹朗
事業の目的	<p>障害のある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられるように、適切な支援を行う。</p> <p>他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。</p> <p>文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるように支援する</p> <p>集団を基礎とした人間関係を中心に置き作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す。生活のリズムを大切にしながら、病気と付き合い地域生活を送ることができよう支援する。</p>
事業の内容	<p>作業(労働)</p> <p>① 軽作業 ネジの箱詰、発送、マグネット</p> <p>② 自主製品の作成 コースター、革製品</p> <p>③ 区、地域、社会福祉協議会で行われるイベントでの販売活動を積極的に進める。</p> <p>日課</p> <p>① 1時間ごとに休憩時間を入れる</p> <p>文化的活動</p> <p>① 創作活動(月1回) 美術作品の制作 かかしコンクール、ギャラリー展示 展覧会見学</p> <p>② 作品展への出展(きょうされん作品展・江東区作品展)</p> <p>自治活動</p> <p>① リーダー会議</p> <p>② メンバー自治会の準備会 リーダー選挙、朝の会</p> <p>③ 各種行事实行委員会</p> <p>④ 話し合いのスキルアップ、ルールの明確化</p> <p>その他</p> <p>① 宿泊訓練(1泊2日)</p> <p>② ゆめの集い 岩手県八幡平市2泊3日</p>

健康管理	年1回の健康診断を実施（保健所で実施）11月
年間行事	<p>4月 入所式 新規利用者1名利用開始 利用者1名退所 都外へ転居のため。 ゆめグループ全体会</p> <p>5月 社会福祉フェスティバル イースト21 利用者有志と上野国立美術館 見学 看護学部実習生2名 精神保健福祉実習</p> <p>6月 宿泊研修旅行 西伊豆 精神保健福祉士実習生受入れ 花咲デモ 都立大江戸高校実習ボランティア体験 墨東特別支援学校プール開放</p> <p>7月 新規利用者1名利用開始 看護学部実習生2名 精神保健福祉実習 江東特別支援学校プール開放</p> <p>8月 るーくる10周年記念式典 ゆめの集い 岩手県八幡平市 2泊3日研修旅行 母親大会 リボン納品 暑気払い 亀戸ファミレスにて 母親大会リボン納品</p> <p>9月 かかしコンクール 看護学部実習生2名 精神保健福祉実習</p> <p>10月 ゆめまつり 台風19号上陸のため中止 区民まつり 木場公園 江東特別支援学校2年生実習2週間 看護学部実習生2名 精神保健福祉実習</p> <p>11月 江東特別支援学校実習生（2年生）実習 健康診断（城東南部保健相談所） 日産化学株式会社様より、冷蔵庫寄贈 看護学部実習生2名 精神保健福祉実習</p> <p>12月 江東区障害者福祉大会 ティアラ江東 望年会 砂町文化センター 男性利用者退所</p> <p>1月 新年顔合わせ 初詣 成人還暦餅つき大会</p>

	<p>2月 江東区障害者作品展 精神保健福祉士実習 2週間 日立ソリューション販売</p> <p>3月 避難訓練 屋上で消火器訓練 利用者期末賞与支払い</p>
<p>その他</p>	<p>① 職員の指導力を高めるための研修を実施した。</p> <p>② 欠席者への電話連絡、長期欠席者への訪問を行った。 長期入院中の利用者への地域移行支援に協力</p> <p>③ 個別支援計画のための面談</p> <p>④ 行政手続きの支援</p> <p>⑤ 地域での社会参加、(自治会役員、カルチャー教室入会など)の支援。</p> <p>⑥ 利用者の工賃 期末賞与の算定を変更した。販売参加などを加算</p>
<p>課題</p>	<p>生活</p> <p>① 精神疾患以外の疾病の管理と健康維持。</p> <p>② 利用者の高齢化にともなう、設備、環境の改善。</p> <p>③ 単身の高齢利用者の日中活動時間以外(夜間、土日休日等)の緊急時の対応をどうするか。</p> <p>④ 関係機関とのネットワーク再構築と強化。</p> <p>⑤ 長期欠席者に対する支援、ニーズ調査。</p> <p>⑥ 単身で生活している利用者の支援(健康管理、食生活など)を関係機関と協力しながら重視する。</p> <p>作業仕事</p> <p>⑦ 誰もが革製品づくりに参加出来るようにする。</p> <p>⑧ 自主製品販売場所および販路の拡大。特に常設できる販売場所の開拓。</p> <p>⑨ 工賃支給基準の見直し(継続)</p> <p>⑩ 請負作業 (ゆめグループ倉庫整理管理業務) 全体行事前後の片づけ、備品管理などを利用者主体で担っていく。</p> <p>その他</p> <p>⑪ 利用者減少、利用率の低下に伴い 利用者募集を関係機関等に周知させる。</p> <p>⑫ 高齢の家族の問題を支えている利用者の急増とその包括的支援</p>

2019年度 事業報告

いぶき寮

事業所名	いぶき寮
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	共同生活援助（介護サービス包括型）
所在地	東京都江東区枝川1-8-15-714、904
管理者	2019年度 安部 慎太郎・2020年度 田中 篤子
事業の目的	<p>基本方針 知的障害を持つ人々が、地域で自立した生活を送ることができるための生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進するとともに、可能な限り個々のニーズに対応した包括的な援助を提供する。</p> <p>運営方針</p> <p>(1) 利用者の意思及び人格を尊重し、プライバシーを守る。</p> <p>(2) 利用者が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその環境に応じて、共同生活住居において、日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。</p> <p>(3) 地域社会との交流につとめ、関連する障害者団体との連携をはかる。</p>
事業内容	<p>(1) 健康管理の援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康状態の把握に努め、日常的な健康管理に配慮した。 ・必要がある場合は、医療機関への通院の支援を行った。 <p>(2) 利用者の健康に配慮した食事の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の身体の状況・希望や嗜好を考慮した食事の提供を行った。 <p>(3) 入浴、排せつ又は食事等の介護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の必要に応じて、入浴、排せつ又は食事等の介護を行った。 <p>1名年々、必要な介助が増えてきている。</p> <p>(4) 日中活動援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中、職場へ通勤する場合や、通所の施設、デイサービス等のサービスを利用する場合に、必要に応じて職場やサービス提供事業者等と連絡・調整を行い、利用者の活動を支援する。 <p>(5) 余暇活動等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日や余暇時間には利用者のニーズに沿った外出支援、趣味活動支援を行った。 <p>(6) 相談・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立生活に向けたスキルの習得や、個別の要望に対応して、相談の場を設け助言を行った。

	<p>(7) 金銭管理の援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立生活に向けて金銭管理が自分でできるように支援した。 <p>(8) 家族との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者と家族間の連絡調整を行った。 <p>(9) 行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに応じて、外食、旅行、視察・見学会等の行事を実施した。 <p>(10) 緊急時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の緊急時においては、協力医療機関、利用者の主治医、その他の必要な医療機関等への連絡を行う等の、必要な措置をとった。 ・利用者に事故等が発生した場合には、直ちに利用者にかかる障害福祉サービス事業者等に連絡するとともに、必要な措置をとった。 <p>(11) 防災訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回防災避難訓練を実施した。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9月末 7階の男性利用者が、同じく7階居住者宅のドアノブをガチャガチャいじり、窓から部屋の中を覗き見た。江東区より連絡があり発覚。対応に追われた。当該利用者がいぶき寮に戻らないことを約束し、現在に至る。

2019年度事業報告

丸山ハイツ

事業所名	丸山ハイツ
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	共同生活援助
所在地	1) 丸山ハイツ：東京都江東区亀戸4-21-6 2) 東砂ハウス：東京都江東区東砂6-20-7
管理者	前田 進一
事業の目的	精神障害者の地域生活における生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進することを目的とする。
事業の内容	<p>生活訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生活のリズムの調整。 ② 洗顔、歯磨き、入浴、着替え、洗濯の指導。 ③ 炊事や栄養面での助言。 ④ 服薬の声掛け、薬の飲み方の助言。 ⑤ 各居室のそうじ、整理整頓の指導。 ⑥ ゴミ出しやトイレ、浴室のそうじなど、当番の声掛け。 ⑦ 金銭管理の指導。 ⑧ 共有スペースなどの利用ルールの順守 <p>日中活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日中活動として利用している関係機関との連携。 ② まだ日中活動の場を持たないひとには、通所施設の紹介、見学同行。 <p>相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 計画相談支援利用の手続き支援や、セルフプラン作成。 ② 状態悪化時や、不安時の相談。 ③ GHでの人間関係の調整や、家族関係の調整。 ④ 利用者が抱えるさまざまな思いへの寄り添い。 ⑤ 夜間などの電話相談。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 夕食の提供。(月から金) ② 必要に応じて、通院の介助。 ③ 障害年金など、様々な手続きの助言、および関係機関への同行。

健康管理	年1回の健康診断を実施する（保健所で実施） 顧問医との面談を定期的実施する。
年間行事	<p>4月 入所式（ゆめグループ）</p> <p>7月 食事会（丸山ハイツ・東砂ハウス）</p> <p>8月 江東花火大会（東砂ハウス）</p> <p>9月 暑気払い（丸山ハイツ・東砂ハウス）</p> <p>12月 クリスマス会（丸山ハイツ・東砂ハウス） 望年会（ゆめグループ）</p> <p>1月 新年会（丸山ハイツ・東砂ハウス）</p>
その他	<p>① 個別支援計画の作成のため、利用者や保護者、関係機関との話し合いを定期的に行なう。</p> <p>② 職員の指導力を高めるための研修を実施。発達障害に関する研修など</p> <p>③ 寮費（食費、日用品費、光熱費）の内訳、および返金の内訳を利用者が理解出来る形で明確化。</p> <p>④ 毎月寮会議を実施し、利用者同士の交流や行事の企画などを行なう。</p> <p>⑤ 防災訓練を実施。</p> <p>⑥ 新任職員の研修に力を入れる。</p>
課題	<p>① 各部屋の空き期間をできるだけへらす</p> <p>② 発達障害、知的障害との重複障害の対応</p> <p>③ 日中活動の利用が本人の目標通り進んでいない。</p>

2019年度事業報告

生活寮ひだまり

事業所名	生活寮ひだまり
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	江東区心身障害者生活寮運営費助成事業 定員4名 : 男性3名 女性1名
所在地	江東区東砂8-19-7
管理者	中村 幸江
職員体制	世話人 遠藤 亜希子 朝食賄い 山口 喜代美 (6月まで) 景山 伊津子 (6月から月水金) 香取 友美 (6月から火木)
事業報告	<p>4月 日帰り旅行 (木更津) ※悪天候で中止→スナモで食事</p> <p>5月 幸せの黄色いレシート活動</p> <p>8月 幸せの黄色いレシート活動 江東花火大会見学 砂町銀座へ食事 (海幸) 流しそうめん大会その1</p> <p>9月 流しそうめん大会その2 歓送迎会 (スナモ) 稲葉さんお墓参り (つくば市)</p> <p>10月 台風19号で五砂小へ避難 東砂8丁目町会 ニコニコバス旅行 (山梨)</p> <p>11月 お誕生日会 (新妻) 手巻き寿司 幸せの黄色いレシート活動</p> <p>12月 お誕生日会 (秋山) スシロー 大掃除 大晦日に年越しそば</p> <p>1月元旦 初詣、おせち&お雑煮 幸せの黄色いレシート活動</p> <p>2月 幸せの黄色いレシート活動</p> <p>3月 旅行 (秩父) ※コロナで中止 花見 (木場公園)</p>

事業内容

(1) <寮費> 90,000 円/月

(内訳)	家賃	50,000 円
	食費	25,000 円
	光熱費	7,000 円
	消耗品	1,000 円
	行事費	2,000 円
	旅行積立	5,000 円

(2) 健康管理の援助

- ・利用者の健康状態の把握に努め、日常的な健康管理に配慮した。
- ・朝、血圧を計測し記録した。
- ・必要のある方へ通院同行、入院時は洗濯物等の交換を行った。
- ・各自、目標体重を定め、甘い飲み物を飲む日を週半分にした。

(3) 健康に配慮した食事の提供

- ・利用者の身体の状態・希望や嗜好、栄養を考慮した食事を提供した。

朝食は賄いが調理。夕食はドリーム第2の配食を配膳。土日の夕食はカロリーを控えた宅配弁当を提供した。

GW、夏休み、年末年始も夕食を提供した。

(4) 入浴、排せつ又は食事等の介助

- ・必要な方には、入浴、排せつ、食事の介助を行った。

(5) 日中活動援助

- ・職場や、通所施設等のサービスを利用する場合に、必要に応じて職場やサービス提供事業者等と連絡・調整を行い、利用者の活動を支援した。

(6) 余暇活動等の支援

- ・休日や余暇時間の外出支援（行楽、買物など）を支援した。

(7) 相談・助言

- ・共同生活が円滑にいくように助言および悩み事の相談等により、個々の生活、人間関係が安定するように支援した。

(8) 金銭管理の援助

- ・金銭管理が必要な方の通帳や現金を管理した。

(9) 行事

- ・年間計画を立て、誕生日会、季節の行事、旅行、食事会等を企画した。

長期の休みには、全員で外出プランを考えて出かけた。

(10) 防災関係

- ・非常用リュックの確認。賞味期限チェックを行った。
- ・10月12日（土）台風19号で避難勧告を受け、近隣の五砂小体育館（2階）へ避難した（16：00～23：30）

	<p>(11)その他</p> <ul style="list-style-type: none">・寮生活が円滑に進むよう毎月、寮会議を行った。・赤い羽根共同募金で洗濯機を購入した。(3割負担) <p><退去・入居></p> <ul style="list-style-type: none">・7月4日稲葉芳充さんが嘔吐物を詰まらせ、自室で亡くなった。・10月25日木俣太樹さんが入居
--	---

2019年度事業報告

生活寮 ひだまり第2

事業所名	生活寮ひだまり第2
運営法人	社会福祉法人ゆめグループ福祉会
事業の種類	江東区心身障害者生活寮運営費助成事業
所在地	江東区大島3-25-5
利用定員	5名（在籍5名）
職員	3名（常勤）
管理者	柳 春夫
事業の目的	<p>基本方針</p> <p>障がいのある人々が地域で自立した生活を送ることが出来るよう生活の場を確保・提供する。</p> <p>提供された生活の場を活用し自立と社会参加に積極的に取り組めるよう支援する。</p> <p>可能な限り個々のニーズにじた支援を適切かつ安全に行う。</p> <p>運営方針</p> <p>(1) 利用者の意思及び人格を尊重し、プライバシーを守る。</p> <p>(2) 利用者の身体及び精神の状況とその環境に応じて、日常生活に必要な援助を適切かつ効果的に行う。介助等支援にあたって安全・安心第一にこころがける。</p> <p>(3) 地域社会との交流に努めるとともに、関連する障がい者団体との連携をはかる。</p>
事業内容と課題	<p>(1) 日常生活を円滑に送るための支援</p> <p>利用者のニーズに応じて食事・排泄・入浴など必要な介助・支援を行う。特に生活全面の介助が必要な重度者の介助・支援は安全の確保に留意し入浴介助は2名で実施した。</p> <p>(2) 健康管理の支援</p> <p>利用者の健康状態を把握し、必要な場合は通院に同行している。その結果訪問看護の利用（主に排便の援助）を行っている。</p> <p>年度末に微熱が続く利用者に精密検査を実施したところ重大な疾病が見つかり入院手術となり新年度に入り現在も入院中である。70歳近い高齢者が現在2名、通常健康診断では発見が難しい状況にある。人間ドックの利用も考えられるが、ご家族、成年後見人と協力しながら取り組む必要があると思う。</p> <p>(3) 食事の提供</p> <p>平日の夕食はドリーム第2の給食を利用している。朝食は泊まり明けの職員が「簡単」に作っている。休日の食事は各人がコンビニ等で購入している。栄養等の課題は残されている。</p>

(4) 日中活動の支援

一般企業に就職できた利用者の通勤にあたっての「身だしなみ」の援助をしている。ゆめグループ以外の事業所を利用している方については日中活動事業所と必要な連絡を取っているが、充分とは言えない。

(5) 金銭管理の支援

金銭管理ができない利用者については保護者・成年後見人の依頼を受け月毎に一定額を預かり、決まった金額を手渡すようにしている。月毎に記録し保護者・成年後見人に報告している。

(6) 行事・誕生会

利用者5人の誕生会を行っている。宿泊旅行も以前は行っていたが、他法人の日中活動を利用している方が多く(3人)、一緒の行動は難しくなり現在は取りくんでいない。」

(7) 職員体制を保障するための工夫

3名の常勤体制で24時間「在勤」を実施している。江東区の運営助成金は740万円程度で必要な人件費には程遠い。そこで不足分は利用者Tさんの介護保険(要介護5)のヘルパー派遣(身体介護)にひだまり2職員を登録してヘルパー報酬を受けている。同様に障害福祉の重度訪問介護のヘルパーとして登録しヘルパー報酬も受けている。こうして3人の人件費を拮出しているが、それでも法人からの補充は50万円程度必要になっている。(職員3人は介護保険の事業者と雇用契約を結んでいる)

(8) 総合支援法事業への移行について

法人として車椅子に対応できるグループホームの設置は重点的な課題に位置付けられている。現在の施設・敷地での改築、法内施設への移行はできないので、新たな事業所の開設と併せた形で検討されている。31年度も対象物件の動きはなく具体的な進展はなかった。江東区からは毎年「移行」についての調査があるが「移行の意思はあるが計画は進展していない」とのこと、「資金確保は非常に大変なので区の支援をお願いしたい」と回答した。なお、グループホームへの報酬単価が厳しくなっている現状で区事業はいくつかのメリットを持っている。法内施設への移行にあたっては、その形態等を充分検討することが重要と思う。

2019年度事業報告

ひだまり第3、ひだまり第4

事業所名	主たる事業所	ひだまり第3	
	従たる事業所	ひだまり第4	
運営法人	社会福祉法人ゆめグループ福祉会		
事業の種類・定員	共同生活援助(外部サービス利用型) 2020年3月31日現在 ひだまり第3 定員:5名(現員男性5名) 常勤1名 兼任1名 知:3名 身:1名 身知:1名 平均年齢 60.6歳 ひだまり第4 定員:5名(現員男性5名) 常勤1名 パート1名 知:5名 平均年齢 34.4歳		
所在地	ひだまり第3:江東区大島3-25-5 ひだまり第4:江東区東砂3-7-11		
管理者	田中 直樹	サービス管理責任者	藤森 幹朗
事業の目的	障がいのある人たちが、地域で自立した生活ができるよう 生活の場のと支援の体制を確保する。自立した生活と社会 参加を実現できるよう、個々のニーズに応じた支援を提供する。		
運営方針	①利用者の意志および人格を尊重し、プライバシーを守る。 ②利用者相互の共同協力を重視し、楽しく規律ある生活を 送れるよう配慮し支援する。 ③心身の健康管理に留意する。 ④必要な介助体制を確保するために、外部サービスも利用 する。(必要な手続きを進める)		
事業の内容	ひだまり第3 ①利用者の健康に配慮した食事を提供する。 ・朝食は世話人が前日に準備したり、買い物の出来る利用者には金銭を渡して補っている。 夕食についてはグループ内の作業所より夕食を注文している。 年齢的に授食量が減った利用者に分量を配慮して注文したりしている。土曜日、日曜日の昼食 は希望に応じて配食サービスから頼むことが可能。 ②健康管理に配慮する。 ・健康診断は職員を含め必要な者全員が受診している。 ・高齢化もあって通院する利用者が増えている。通院には移動支援(区事業)が原則利用でき ないが、臨機応変に対応している。 ・入院治療が必要な疾患を抱えている利用者もいるので、速やかに入院治療できるように、日 中活動管理者、ヘルパー、世話人と連携をとって対応している。 ③入浴、排せつ、部屋の整理、洗濯等を支援する。 ・入浴方法にこだわりを持った発達障害の利用者への対応で、世話人の負担が多くなってい る。 ・利用者の洗濯物をすべて世話人が洗濯機で洗濯していたが、 2Fベランダにも洗濯機を設置し、自分で洗濯が出来るよう支援している。 ④余暇活動の支援 ・8月に奥多摩日の出町に日帰り旅行、正月休み、GW、夏休み、秋の連休には 日帰り温浴施設を利用。誕生日会の実施。 ⑤金銭管理の援助 ・買い物等の支援を行った。 ・日中活動管理者と協力して一部金銭管理。兄弟からの依頼で一部金銭管理。 ・成年後見制度を利用している利用者が1名おり、後見人の依頼で一部金銭を預かって管理し ている。		

	<p>⑥日常生活の問題や将来のことなど相談・助言する 日中活動管理者、職員、相談支援事業所職員と連携を取り、ニーズ調査、課題整理に取り組んでいる</p> <p>⑦家族と交流 ・できなかった。</p> <p>⑧利用者の入退所 4月に相模原市内のグループホームに転居したため退所 8月に江東区愛の手帳係からの紹介で江東区在住の60代の男性入所</p>
事業の内容	<p>ひだまり第4 2015年10月よりサービス開始</p> <p>①利用者の健康に配慮した食事を提供する。 ・料理担当職員(パート)を朝、夜と配置。栄養面を考えた食事を平日のみ提供。</p> <p>②健康管理に配慮する。 ・健康診断は職員を含め必要な者全員が受診している。 ・通院に支援を必要としている利用者に関しては、世話人や通院同行で対応している。</p> <p>③入浴、排せつ、部屋の整理、洗濯等を支援する。 ・入浴介助が必要な利用者については男性職員が対応。 ・部屋の掃除が一人では困難な方は職員と一緒にいった。</p> <p>④余暇活動の支援 ・30年度、31年度と海外旅行を計画していましたが、未実施になってしまい、入居者の方々には本当に申し訳ないことをしました。 ・誕生日会を行なった。</p> <p>⑤金銭管理の援助 ・入居者2名金銭管理。 ・入居者3名一部金銭管理。 ・買い物支援も行った。</p> <p>⑥日常生活の問題や将来のことなど相談・助言する ・寮会議の定期的な実施ができなかった。要検討事項。</p> <p>⑦家族と交流 ・未実施</p> <p>⑧利用者の入退所</p>
緊急時の対応	<p>・10月の台風19号上陸の際は、大島地区にも避難勧告が出せられ、田中直樹施設長の指揮で夕方からゆめ工房へ5名避難し安全が確認された後、全員無事に帰寮できた。</p>
防災訓練	<p>・大型台風上陸時の反省を踏まえて、地域の避難所、防災設備の利用を想定した、訓練を3月に行う予定だったが、新型コロナウイルス感染問題で中止した。 ひだまり第4は防災・避難訓練は9月4日に火災、3月11日に震災を想定して行なった。消防点検は可だった。</p>
その他	<p>・寮会議(利用者・職員)を月に1回、定期的に行なった。 ・高齢化が進んでいるひだまり第3の入居者より夜間の職員体制の希望有り。対応を継続して検討。</p>

2019年度		ゆめ相談支援センター計画相談支援実施状況																		
													2020年							
件数	実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計						
利用支援																				
(計画書提出)		3	6	1	4	9	6	3	10	1	6	5	7	61						
継続支援																				
(モニタリング)		5	4	2	6	8	2	7	7	5	13	8	9	76						
合計		8	10	3	10	17	8	10	17	6	19	13	16	137						
2019年度		地域交流支援センターサービス実施状況																		
重度訪問介護		2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15						
居宅介護		12	13	12	11	10	11	10	10	10	10	8	11	128						
同行援護		1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13						
移動支援		18	28	19	22	21	25	22	26	19	15	24	14	253						